



平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディア工房

コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 今井 健一

TEL 03-5549-1804

四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年8月期第3四半期 | 1,859 | 0.3 | 491 | △9.1 | 481 | △10.5 | 265 | △16.3 |
| 25年8月期第3四半期 | 1,854 | △6.2 | 540 | 26.6 | 538 | 26.2 | 317 | 41.1 |

(注) 包括利益 26年8月期第3四半期 265百万円 (△16.3%) 25年8月期第3四半期 317百万円 (41.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 26年8月期第3四半期 | 50.78 | 49.64 |
| 25年8月期第3四半期 | 62.32 | 60.18 |

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成26年3月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 26年8月期第3四半期 | 3,682 | 2,002 | 54.0 | 374.30 |
| 25年8月期 | 3,373 | 1,826 | 53.5 | 352.19 |

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 1,989百万円 25年8月期 1,803百万円

(注) 1株当たり純資産については、平成26年3月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 25年8月期 | — | 0.00 | — | 2,450.00 | 2,450.00 |
| 26年8月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年8月期(予想) | — | — | — | 22.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は平成26年3月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。平成25年8月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 2,460 | 0.6 | 622 | △9.7 | 610 | △11.5 | 333 | △16.2 | 63.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年8月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社MKアソシエイツ、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年8月期3Q | 5,650,000 株 | 25年8月期 | 5,650,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年8月期3Q | 333,400 株 | 25年8月期 | 529,400 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年8月期3Q | 5,236,453 株 | 25年8月期3Q | 5,096,600 株 |

(注)発行済株式数については、平成26年3月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行ったことをふまえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表に対する監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策等により、輸出業を中心に企業業績・雇用情勢が改善し、個人消費が持ち直すなど、緩やかな景気回復の兆しが見られました。一方、世界経済においても回復傾向が続いているものの、米国の金融緩和の縮小、新興国経済の成長率の鈍化、ウクライナ情勢の緊迫化などの地政学的リスク等、国内景気が下押しされるリスクが存在しております。

当社グループの中心事業であるデジタルコンテンツビジネスを取り巻く環境においては、2013年度(2013年4月～2014年3月)国内携帯電話端末の出荷台数は3,941万台であり、うちスマートフォンの出荷台数は2,960万台(出荷台数比率75.1%、前年度比4.0%増)と出荷台数比率は依然として増加傾向にあり(注1)、スマートフォンへの対応が引き続き重要な経営課題となっております。また、スマートフォンの年齢別保有率は、10代、20代の保有率がいずれも8割を超えており、高齢になるにつれて保有率が逡減していく傾向にあることから(注2)、若年層のスマートフォンユーザーをいかに獲得し、マネタイズを図っていくかが今後の業容拡大のために欠くことのできない要素となっております。

このような経済状況の中、当社グループの主力事業であるコンテンツ事業においては、スマートフォン対策として各移動体通信事業者のスマートフォン用公式サイトや、AppStore・GooglePlayなどのアプリストア、「LINE」や「GREE」などのプラットフォーム提供事業者へのコンテンツの提供を通して配信網の拡大に努め、市場の更なる拡大が見込まれる各種ゲーム・パズル等のエンターテインメント系コンテンツの企画・制作など、コンテンツジャンルの拡充について模索して参りました。また、従来から古いコンテンツを若年層向けにアレンジしたエンターテインメントアプリを企画・制作・配信して参りましたが、平成26年6月20日にリリースしましたiPhone向けアプリ「全国性格一斉テスト」がAppStoreランキングで初めて総合無料1位を獲得するなど、若年層ユーザーの獲得にも邁進して参りました。

ブランド事業におきましては、第1四半期連結会計期間において、韓国人気女性グループ「T-ARA」をイメージキャラクターに起用したDPG!ブランド事業の立ち上げを行い、平成25年9月には「DPG!青山店」をオープンし、同年12月にはECサイトを立ち上げ、収益化を図っております。引き続き、新規事業の本格展開に向けた準備に注力して参ります。

以上の結果、コンテンツ事業を主力とする当社単体の当期純利益は330百万円(前年同期比5.8%増)と過去最高となりましたが、新規事業の本格展開に伴う基盤構築費用が増加したことに伴い、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,859百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益491百万円(前年同期比9.1%減)、経常利益481百万円(前年同期比10.5%減)、四半期純利益265百万円(前年同期比16.3%減)となりました。

(注1) MM総研の調査によっております。

(注2) 博報堂DYグループ・スマートデバイス・ビジネスセンターの調査によっております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、株式会社MKアソシエイツにおいて商品・サービスなどの複数の販売チャネルをシームレスに融合した複合ビジネスの展開準備、立ち上げを行ったことに伴い、報告セグメントの区分を変更しており、この複合ビジネスを「ブランド事業」として記載をしております。また、それに伴い従来の「美容関連事業」は「その他」に含めて記載をしております。そのため、以下の前年同期比較につきましては、当該組替え後の数字に基づき算定しております。

① コンテンツ事業

コンテンツ事業につきましては、モバイル向け及びPC向けに古いコンテンツ等を企画・制作・配信するビジネスを中心に展開しております。

フィーチャーフォン向けコンテンツにつきましては、新規古いコンテンツを各移動体通信事業者のフィーチャーフォン用公式サイトへ継続的に投入して参りました。フィーチャーフォン向け古いコンテンツは根強い人気があり、第2四半期連結会計期間より新規投入コンテンツ数を増加しております。

スマートフォン向けコンテンツにつきましては、各移動体通信事業者のスマートフォン用公式サイトに古いコンテンツを積極的に投入するとともに、LINE株式会社の運営する「LINE(登録ユーザー数が平成26年4月時点で世界4億人を誇るコミュニケーションアプリ)」との連携アプリである「LINE占い」への人気コンテンツの提供、グリー株式会社の運営する「GREE」内サービスである「GREE占い」へ古いロジック及びデータの提供等を行うなど、配信プラットフォームの拡大に注力して参りました。また、若年層向けにAppStore・GooglePlayへのプレミアムモデルアプリの継続的な配信を行い、平成26年5月23日にリリースしましたiPhone向けアプリ「性格美男美女診断」のAppStoreランキング総合無料2位に続き、平成26年6月20日にリリースしました「全国性格一斉テスト」

で初めて1位を獲得致しました。また、スマートフォンの普及によるユーザーの嗜好の変化に対応するため、スマートフォンの機能を十分に活用したゲーム・パズル等のエンターテインメント系コンテンツの企画・制作を進めて参りました。平成26年7月にはポイントサービスアプリケーション「GiftCam」のリリースにより、O2O広告ビジネスに参入する予定であり、同じく平成26年8月には「サウンドノベルゲーム」がリリース予定となっております。「サウンドノベルゲーム」は今後継続的に配信していく予定です。

PC向けコンテンツにつきましては、市場が縮小傾向にある中、継続的に良質な新規コンテンツを毎月1本投入し、効果的なプロモーションを行うことで、売上高及び利益額の維持に努めたことで底堅く推移しました。

海外での展開につきましては、中国ではSNSサイト「開心網」、ポータルサイト「QQ.com」「SOHU.com」、検索サービス「百度」への占いコンテンツの配信、韓国では韓国最大級の占いサイト「フォーチュンエイド」へ占いコンテンツの提供を行っております。また、平成25年2月に設立しました韓国現地法人である非連結子会社株式会社MK Bコリアにて、デジタルコンテンツ事業における素材の仕入れ、及び韓国での配信網の拡大を図っており、平成26年4月22日には、韓国最大手の通信キャリアであるSKテレコムが運営するプラットフォーム「T-Store」にて占いコンテンツの配信を開始しており、配信コンテンツ数の増加に向けて邁進しております。

「dメニュー」を始めとした各移動体通信事業者の公式サイト、及びネイティブアプリなどのスマートフォン向けコンテンツの売上高は着実に増加しており、引き続き、経営資源を投入し、スマートフォン対応に注力して参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンテンツ事業の売上高は1,833百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は812百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

② ブランド事業

ブランド事業につきましては、連結子会社である株式会社MKアソシエイツにて韓国人気女性グループ「T-ARA」をイメージキャラクターに起用し、DPG!ブランドを冠した商品販売店舗、ECサイト等を展開しております。リアルとバーチャルを融合した複数商品・サービスの販売チャネルをシームレスに結びつけることにより、シナジー効果を生み出していく予定です。平成25年9月には商品販売店舗「DPG!青山店（東京都港区南青山五丁目6-25）」がオープンし、平成25年12月にはECサイト「DPG!ONLINE（<http://www.dpgxshop.com/>）」の運営を開始しております。しかしながら、未だ「DPG!ブランド」の浸透ができておらず、商品販売は低調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるブランド事業の売上高は9百万円となり、営業損失は48百万円となりました。

③ その他

連結子会社である株式会社MKコミュニケーションズにて平成25年5月より、当社グループの主力事業である占いコンテンツビジネスとの相乗効果が見込まれる電話占いサービスを開始しております。平成26年4月からは独自開発システムの受託ビジネスも展開しており、単月黒字化を果たしました。また、楽天市場等のインターネットサイトで化粧品販売を行っておりますが、その売上高は僅少でございます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の売上高は15百万円（前年同期より3百万円増加）となり、営業損失は33百万円（前年同期は営業損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,682百万円であり前連結会計年度末と比較して309百万円増加しております。これは主に現金及び預金が387百万円、売掛金が24百万円増加し、その他流動資産が123百万円減少したことによるものであります。負債合計は1,679百万円であり前連結会計年度末と比較して133百万円増加しております。これは主に1年内返済予定の長期借入金が128百万円、長期借入金が70百万円増加し、未払法人税等が59百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は2,002百万円であり、前連結会計年度末と比較して175百万円増加しております。これは主に利益剰余金が117百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の連結業績予想につきましては、新規事業の本格展開に伴う不確定要素が多数内在しており、業績予想が極めて困難であったため公表しておりませんでした。最近の業績動向等を踏まえ、通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年7月11日に公表いたしました「平成26年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社MKアソシエイツにて新規事業を開始し、それに伴い増資を行ったため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,713,602 | 2,100,992 |
| 売掛金 | 503,525 | 528,375 |
| 商品 | 3,883 | 9,403 |
| 仕掛品 | 35,428 | 39,436 |
| 貯蔵品 | 1,301 | 1,249 |
| 繰延税金資産 | 15,144 | 8,949 |
| その他 | 301,133 | 177,219 |
| 貸倒引当金 | △7,533 | △5,741 |
| 流動資産合計 | 2,566,485 | 2,859,884 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 282,238 | 289,544 |
| 無形固定資産 | 38,551 | 32,798 |
| 投資その他の資産 | | |
| 関係会社株式 | 148,180 | 178,780 |
| 敷金及び保証金 | 120,211 | 99,276 |
| その他 | 218,036 | 190,780 |
| 貸倒引当金 | △673 | △557 |
| 投資その他の資産合計 | 485,755 | 468,280 |
| 固定資産合計 | 806,544 | 790,622 |
| 繰延資産 | — | 31,641 |
| 資産合計 | 3,373,030 | 3,682,149 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 31,039 | 33,593 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 586,610 | 715,272 |
| 未払費用 | 129,429 | 118,106 |
| 未払法人税等 | 137,092 | 77,463 |
| その他 | 30,287 | 32,840 |
| 流動負債合計 | 914,459 | 977,275 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 631,952 | 702,598 |
| 固定負債合計 | 631,952 | 702,598 |
| 負債合計 | 1,546,411 | 1,679,873 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年5月31日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 451,459 | 451,459 |
| 資本剰余金 | 348,454 | 348,454 |
| 利益剰余金 | 1,189,510 | 1,307,256 |
| 自己株式 | △186,011 | △117,170 |
| 株主資本合計 | 1,803,413 | 1,989,999 |
| 新株予約権 | 23,206 | 12,275 |
| 純資産合計 | 1,826,619 | 2,002,275 |
| 負債純資産合計 | 3,373,030 | 3,682,149 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 1,854,443 | 1,859,247 |
| 売上原価 | 585,376 | 620,578 |
| 売上総利益 | 1,269,067 | 1,238,669 |
| 販売費及び一般管理費 | 728,505 | 747,263 |
| 営業利益 | 540,561 | 491,405 |
| 営業外収益 | | |
| 受取賃貸料 | 3,195 | 3,207 |
| その他 | 2,649 | 3,143 |
| 営業外収益合計 | 5,844 | 6,351 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,751 | 7,234 |
| 開業費償却 | — | 5,583 |
| その他 | 2,060 | 3,045 |
| 営業外費用合計 | 7,811 | 15,864 |
| 経常利益 | 538,594 | 481,892 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 162 | 540 |
| 特別利益合計 | 162 | 540 |
| 特別損失 | | |
| 事業撤退損 | 18,797 | — |
| 特別損失合計 | 18,797 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 519,958 | 482,432 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 194,190 | 205,298 |
| 法人税等調整額 | 8,124 | 11,225 |
| 法人税等合計 | 202,315 | 216,523 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 317,643 | 265,908 |
| 四半期純利益 | 317,643 | 265,908 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 317,643 | 265,908 |
| 四半期包括利益 | 317,643 | 265,908 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 317,643 | 265,908 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|---------------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | コンテンツ 事業 | ブランド 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,843,075 | — | 1,843,075 | 11,367 | 1,854,443 | — | 1,854,443 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | 1,274 | 1,274 | △1,274 | — |
| 計 | 1,843,075 | — | 1,843,075 | 12,642 | 1,855,718 | △1,274 | 1,854,443 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | 860,735 | — | 860,735 | △34,334 | 826,400 | △285,838 | 540,561 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品の販売、風水グッズ等の販売を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△285,838千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△288,088千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|---------------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | コンテンツ 事業 | ブランド 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,833,906 | 9,474 | 1,843,381 | 15,865 | 1,859,247 | — | 1,859,247 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,833,906 | 9,474 | 1,843,381 | 15,865 | 1,859,247 | — | 1,859,247 |
| セグメント利益又はセグメント損失(△) | 812,752 | △48,692 | 764,060 | △33,457 | 730,603 | △239,197 | 491,405 |

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品の販売、風水グッズ等の販売、電話占い事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△239,197千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,439千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」、及び「美容関連事業」の2区分から、「コンテンツ事業」及び「ブランド事業」の2区分に変更しております。これは、第1四半期連結会計期間において、DPG!ブランドの立ち上げに伴い、「ブランド事業」を新たに報告セグメントに追加したこと、また、これに伴う組織体制の変更により、従来、報告セグメントとしておりました「美容関連事業」を「その他」の区分に含めたことによるものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。